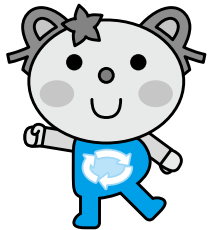


# ごみ収集方法の変更 -ごみの減量化・資源化を一層促進-

本市では、3Rを基調とした資源循環型の廃棄物行政への転換を図っており、その取組の一環として、9月からプラスチック製容器包装の分別収集を全市に拡大するとともに、普通ごみの収集回数を週2回に変更いたしました。



	平成23年3月～	平成25年9月～
プラスチック製容器包装	南部3区実施	全市拡大
ミックスペーパー	全市拡大	継続実施
普通ごみ	週3回	週2回



○変更後2か月間(9月～10月)の収集量(速報値)は次のとおりです。

## 1 主な資源物の収集量

### (1) プラスチック製容器包装(前年同時期比較)

(単位:t)

事業所	南部	川崎	中原	宮前	多摩	合計
2012年度	161	216	242	-	-	619
2013年度	194	266	299	723	563	2,045
増減率	+20.5%	+23.1%	+23.6%	-	-	+230.4%

### (2) ミックスペーパー

(単位:t)

事業所	南部	川崎	中原	宮前	多摩	合計
2012年度	215	293	353	435	371	1,667
2013年度	226	322	390	769	617	2,324
増減率	+5.1%	+9.9%	+10.5%	+76.8%	+66.3%	+39.4%

## 2 普通ごみの収集量

(単位:t)

事業所	南部	川崎	中原	宮前	多摩	合計
2012年度	5,455	6,285	6,260	14,099	12,229	44,328
2013年度	5,127	6,036	5,924	11,900	10,638	39,425
増減率	▲6.0%	▲4.0%	▲5.4%	▲15.6%	▲14.7%	▲11.1%

## ごみ収集方法の変更による効果

- プラスチック製容器包装の収集量は、新たに宮前・多摩生活環境事業所管内(高津区、宮前区、多摩区、麻生区)を実施したことにより大幅に増加しています。また、既に実施していた南部・川崎・中原生活環境事業所管内(川崎区、幸区、中原区)においても、前年同時期と比べ20.5%~23.6%増加しています。
- ミックスペーパーの収集量は、前年同時期と比べ+39.4%と大幅に増加しています。特に、新たにプラスチック製容器包装の分別を開始した宮前・多摩生活環境事業所管内では、相乗効果により65%以上増加しています。
- 普通ごみの収集量は、前年同時期と比較して11.1%(4,903t)減少しており、プラスチック製容器包装とミックスペーパーの収集量の増加分(2,083t)を大きく上回って減量されています。
- こうした資源物の収集量の増加と普通ごみの収集量の減少は、今回の変更を契機とした、市民の方々の減量化・資源化への意識の高まりによるものと考えられます。